

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
1	市内総生産	一定期間内（1年間）に市内の生産活動によって生み出された付加価値の総額で、出荷額、売上高などの産出額から原材料費や光熱水費などにあたる中間投入を差し引いたもの。	3
2	プレゼンス	一般的には「存在感」を意味するが、「特定の状況における影響力」などの意味でも使われる。	3
3	高次都市機能	商業・業務、教育・文化、福祉・医療などの都市機能のうち、日常生活の圏域を越えた広範囲の人々を対象にし、質の高いサービスを提供する機能。	4
4	コンベンション	特定の目的で多数の人が集まる会議、学会、見本市、スポーツ大会、発表会などのこと。	4
5	活断層	最近の地質時代に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層。	4
6	倭国	弥生時代から古墳時代にかけての日本の呼び名。	4
7	民生委員	厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるボランティア。	5
8	岡山県済世顧問制度	大正6年5月12日に岡山県で、当時の笠井信一知事が「済世顧問設置規程」を公布し創設した、貧しい人々を支援するための制度。民生委員制度の起源とされている。	5
9	N P O	Non-Profit Organization 又は Not-for-Profit Organization の略称で、収益を得ることを目的とせずに様々な社会貢献活動を行う団体の総称。	5
10	E S D	Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略称。現代社会の抱える環境、人権などの課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、持続可能な社会を創造していく新たな価値観や行動を生み出すことをめざす学習や活動。	5
11	R C E	Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable（持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点）の略称。国連大学サステイナビリティ高等研究所が地域レベルでのESD活動を推進するために認定している。	5
12	国連大学	国連機関の一つで、国連加盟国のシンクタンクの機能を持つ機関。国連とその加盟国が関心を寄せる緊急性の高い地球規模課題の解決に取り組むため、共同研究や教育を通じて寄与することを使命とする。	5
13	S D G s	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、2030年を達成年限とし、17のゴールから構成されている。	5
14	S D G s 未来都市	SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する自治体。内閣府地方創生推進事務局が公募、選定する。	5
15	アンコンシャス・バイアス	人間が無意識のうちに抱いている思い込みや偏ったものの見方などのこと。	6
16	包摂的	子どもから高齢者、障害のある方、女性や若者、外国人などあらゆる年齢や背景を持つ人々を全て包み込み、誰一人取り残さないという考え方。	6
17	I o T	Internet of Things（モノのインターネット）の略。家電などあらゆるモノをつなげ、自動化等による新たな付加価値を生み出すというコンセプトを表した語。	7

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
18	A I	Artificial Intelligenceの略。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術。	7
19	ロボティクス	ロボットの設計・製作・制御などの技術。「ロボット工学」とも呼ばれる。	7
20	付加価値	企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のことで、生産額から中間投入額を差し引くことによって算出できる。	7
21	イノベーション	物事の「新結合」、「新機軸」、「新しい切り口」、「新しい捉え方」、「新しい活用法」を創造することにより、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。	7
22	共創	市民、行政、企業、団体など、様々な立場の人々が対話をしながら、新しい価値を共に創り上げていくこと。	7
23	D X	Digital Transformation の略。ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。	7
24	地政学リスク	特定の国や地域における政治的・軍事的・社会的な緊張の高まりが、地理的な位置関係によって、周辺の地域や世界経済の先行きを不透明にするリスクのこと。	7
25	インバウンド	外国人が日本へ旅行で訪れること、または訪れた外国人旅行客。	7
26	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。	7
27	ユネスコ創造都市ネットワーク	2004年に発足した、経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の協力を強化することを狙いとした国際的な枠組み。 岡山市は2023年10月に「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野」に日本で初めて認定されている。	7
28	気候危機	人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす危機的状況にあるとされる気候変動を言い換えた表現。	7
29	生物多様性	すべての生物の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む。	7
30	クリーンエネルギー	環境への負荷を最小限に抑える、またはほぼ無い形で生産されるエネルギーのことを指すが明確な定義はない。	7
31	脱炭素	二酸化炭素の排出に焦点をおいた言葉で、二酸化炭素等の地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出をゼロにすること。	7
32	温室効果ガス	人の活動に伴って発生する二酸化炭素、メタンなどの物質。	7
33	ゼロカーボンシティ宣言	地方公共団体による、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨の表明。	7
34	南海トラフ巨大地震	駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震。	7

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
35	国土強靭化	地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりを目指す取組。	7
36	流域治水	気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえて、河川流域のあらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）が協働して流域全体で行う治水対策。	7
37	ワークショップ	特定のテーマを設けて、ファシリテーター（進行役）を中心に、参加者が作業や意見交換をしながら、課題解決の方法を検討したり、学習やトレーニングをしたりする手法。行政では、市民参画の手段として用いられることが多い。	8
38	経済循環	家計・企業・政府などの経済主体の間で、財やサービス、お金（所得・支出）が繰り返し回る仕組みを指す。	11
39	M I C E	企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、コンベンション（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字。	11
40	循環型社会	「天然資源の消費の抑制を図り、もって環境負荷の低減を図る」社会。	12
41	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	17
42	保育の待機児童	認可保育園等に利用申し込みをしたが利用できなかった児童のうち、通園可能な地域に利用できる園がない等、こども家庭庁が待機児童として定義する入園待ちの児童。	20
43	放課後児童クラブの待機児童	放課後児童クラブの対象児童で、利用申し込みをしたが利用できなかった児童。（他のクラブを利用している場合や他に利用可能なクラブがあるにもかかわらず、特定のクラブを希望している場合等は除く）	20
44	共働き・共育て	夫婦が共に働きながら、子育てを行うこと。	20
45	教育D X	教育分野の「Digital Transformation」の略で、教育分野のデジタルによる変革を表す言葉。デジタル技術を活用することで、教育や学校をより良いものに変革すること。	20
46	S D G s	用語解説リスト 13番の再掲	20
47	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	20
48	プレゼンス	用語解説リスト 2番の再掲	20
49	グローバルマインド	異なる文化や価値観の違いを認め合い、広い視野で物事を捉え、お互いを尊重しながら考え、行動できる心のあり方。	20
50	多文化共生	用語解説リスト 26番の再掲	20
51	性的指向	恋愛感情又は性的感情の対象となる性別についての指向。	20
52	包摂的	用語解説リスト 16番の再掲	20
53	健康危機	住民の生命及び健康の安全を脅かす事態。	20
54	8 0 5 0 問題	ひきこもりの子がいる世帯において、高齢化につれて親が80代、子が50代を迎えたまま孤立し、深刻な困窮や、病気・介護等の複合的課題を抱える社会問題。	20

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
55	ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。	20
56	地域共生社会	制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会。	20
57	ユニバーサル社会	障害の有無、年齢等にかかわらず、国民一人一人が、社会の対等な構成員として、その尊厳が重んぜられるとともに、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会の確保を通じてその能力を十分に發揮し、もって国民一人一人が相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する社会。	20
58	イノベーション	用語解説リスト 21番の再掲	21
59	日本遺産	文化庁が認定する、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー。	21
60	MICE	用語解説リスト 39番の再掲	21
61	高次都市機能	用語解説リスト 3番の再掲	21
62	ライフライン	電気、ガス、上下水道、通信など生活していく上で必要不可欠なもの。	22
63	自主防災組織	災害発生時の被害を最小限に防止し、又は軽減を図るため、初期消火や避難誘導、救護等の活動を行う、地域住民による組織。自主防災会や婦人防火クラブがある。	22
64	生物多様性	用語解説リスト 29番の再掲	22
65	温室効果ガス	用語解説リスト 32番の再掲	22
66	脱炭素	用語解説リスト 31番の再掲	22
67	再生可能エネルギー	エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの。太陽光・太陽熱・風力・水力・地熱・バイオマス等がある。	22
68	循環型社会	用語解説リスト 40番の再掲	22
69	連携中枢都市圏	圏域の中心都市が近隣の市町村と連携協約を締結して、①経済成長のけん引、②高次都市機能の集積・強化、③生活関連機能サービスの向上に取り組むもの。	22
70	生活交通	公共交通が不便な地域における地域住民の買い物や通院等の日常生活に必要な移動手段で、コミュニティバスや乗合タクシー等がある。	25
71	社会的養護	保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。	31
72	ヤングケアラー	用語解説リスト 55番の再掲	31

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
73	民生委員・児童委員	民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるボランティアであり、児童委員を兼ねる。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとの相談・支援等を行う。	31
74	こども食堂	こども1人でも参加でき、無料または安価で栄養バランスの取れた食事や、地域の人々と暖かな団らんの時間を共有する等、こどもが安心して過ごせる場。	32
75	ワークショップ	用語解説リスト37番の再掲	32
76	プレーパーク	こどもたちの遊びを制限するものを可能な限り減らし、火・木・水等の自然素材又は段ボール等の身近な素材を使って、こどもたちが自然の中で自由にのびのびと遊べる場。	32
77	愛育委員	各小学校区・地区ごとに組織され、地域住民への「声かけ」や「見守り」を通じて、健康で豊かなまちづくりをめざす健康づくりボランティア。	32
78	E S D	用語解説リスト10番の再掲	33
79	こども家庭センター	地域の全ての妊産婦・子育て家庭向けに、子育て情報の提供や相談に応じるとともに、支援が必要な妊産婦や子育て家庭を把握した場合は、個別の状況にあった支援を行う。また、地域の関係団体等と連携し、こどもや子育て家庭を支援する体制づくりを進める機関。	33
80	ファミリーホーム	保護者のない児童や、保護者に監護させると不適当であると認められる児童を養育者の家庭に迎え入れ、基本的な生活習慣を確立するとともに、自立を支援することを目的として養育を行うもの。定員5人又は6人。	33
81	保育の待機児童	用語解説リスト42番の再掲	34
82	プッシュ型	相手方の行動を待たず、自ら積極的に働きかけること。	35
83	放課後児童クラブの待機児童	用語解説リスト43番の再掲	35
84	こども家庭センター	用語解説リスト79番の再掲	36
85	愛育委員	用語解説リスト77番の再掲	36
86	潜在保育士	保育士として就業していない保育士資格を有する者。	37
87	E S D	用語解説リスト10番の再掲	38
88	キャリア・パスポート	子どもが社会人・職業人としての自立に向けて必要な力を身に付ける学習活動について、一つのファイルに記録して自己の変容や成長を自己評価できるようにしたもの。	41
89	教育D X	用語解説リスト45番の再掲	44
90	ステークホルダー	政策や各種の活動に直接的・間接的な利害を持つ主体。利害関係者。	44

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
91	O J T	On the Job Trainingの略称で、管理監督者などが、日常の業務を通して行う部下育成や実務指導。ここでは、学校内での教職員の育成・指導のことを指す。	46
92	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	48
93	S D G s	用語解説リスト 13番の再掲	48
94	連携中枢都市圏	用語解説リスト 69番の再掲	48
95	地域学校協働活動推進員	子どもの学びや成長を支えるため、幅広い地域住民と学校園が協働・連携して活動できるようにコーディネーターする人。	49
96	ワークショップ	用語解説リスト 37番の再掲	50
97	D X	用語解説リスト 23番の再掲	50
98	S D G s	用語解説リスト 13番の再掲	52
99	S D G s 未来都市	用語解説リスト 14番の再掲	52
100	E S D f o r 2 0 3 0	令和元年12月の第74回国連総会で採択された、2030年に向けたESDの新たな国際的枠組み。	52
101	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	52
102	安全・安心ネットワーク	市内の小学校区・地区単位の各種地域団体やグループが幅広く連携し、防犯、防災、環境美化、地域福祉、健康づくりなどの地域活動を行う組織。	52
103	コミュニティ協議会	小学校区・地区を単位として岡山市が設置しているコミュニティハウスの管理運営を目的に、小学校区・地区内の各種団体で構成される組織。	52
104	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	52
105	ワークショップ	用語解説リスト 37番の再掲	54
106	地域担当職員	安全・安心ネットワーク活動をはじめとする地域活動を支援するため、各地域団体間の連携や関係機関との連絡調整を担う職員。各公民館に1名配属している。	54
107	E S D ・市民協働推進センター	多様な主体をつなぎ協働を生み出していくとともに、市民活動の中にE S Dの浸透を図るために設置された岡山市の協働推進のコーディネート機関。	54
108	産官学金労言士	地域のステークホルダーである産（産業界）、官（行政）、学（大学や研究機関など）、金（金融機関）、労（労働団体）、言（メディア）、士（土業）の総称。	54
109	ステークホルダー	用語解説リスト 90番の再掲	54
110	U N H C R	「国連難民高等弁務官事務所」の略称で、70年以上にわたり、世界の難民の保護と支援を行ってきた国連の機関。	58
111	グローバルマインド	用語解説リスト 49番の再掲	58
112	多文化共生	用語解説リスト 26番の再掲	58

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
113	プレゼンス	用語解説リスト 2番の再掲	59
114	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	59
115	やさしい日本語	難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語。	59
116	出前講座	職員が、地域・職場・サークル・グループ等の研修や会合に直接出向き、防災、消費生活、健康、介護といった市民生活に役立つ情報を伝えるもの。	60
117	性的マイノリティ	同性愛や両性愛の性的指向をもつ人や、性の自己認識「こころの性」と生物学的な性「からだの性」が一致していない人など、性のあり方において少数派である人の総称。	62
118	識別情報	人種、信条、性別、社会的身分など物事の種類や性質を他と区別する情報。	62
119	アンコンシャス・バイアス	用語解説リスト 15番の再掲	62
120	労働生産性	従業者一人当たりの付加価値額のことで、付加価値額を事業従業者数で割ることによって算出できる。	62
121	パートナーシップ宣誓制度	地方自治体が性的マイノリティのパートナー関係を婚姻関係に準ずるものと認め、公的に認証する制度。（岡山市は異性パートナーを含む）	65
122	健康危機	用語解説リスト 53番の再掲	66
123	P H O（ポジティブ・ヘルス・オカヤマ）	令和元年開催のG 2 0 岡山保健大臣会合を契機に官民協働で策定した、「子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会を目指す」という考え方と、それに基づく行動。	66
124	サロン	地域を拠点に、その地域の住民同士が協同で企画し、内容を決め、ともに運営していく楽しい仲間づくり、居場所づくりの活動。	68
125	フレイル	加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下してきた状態。要介護に至る前の状態と位置付けられ、日本老年医学会が f r a i l t y（虚弱）の訳として平成 2 6 年（2 0 1 4 ）に提唱した用語。	68
126	四師会	医療を担う職能団体である、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の 4 つの団体の総称。	68
127	健康市民おかやま 2 1	健康増進法に基づき、市民の健康増進の総合的な推進を図るための方向性や目標を定めた計画。市民、企業、職能団体、地区組織、健康づくりボランティア、公民館、学校園等と連携して健康づくりを推進している。	69
128	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	69
129	ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる、言わば「命の門番」とも位置づけられる人のこと。	69
130	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	72
131	ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方。	72

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
132	相談支援包括化推進員	各相談機関から相談が入った複雑・複合課題を抱えたケースの支援について、関係者を一堂に集めた複合課題ケース検討会の開催や情報共有等、相談機関の後方支援を行う人材。	74
133	岡山市寄り添いサポートセンター	生活困窮状態にある人の自立を支えるための相談支援窓口。	74
134	プッシュ型・アウトリー型支援	支援を必要とする人が支援を求める前に情報提供等を行い、また、直接出向いて支援を行うアプローチ。	74
135	民生委員・児童委員	用語解説リスト 73番の再掲	74
136	安全・安心ネットワーク	用語解説リスト 102番の再掲	74
137	社会を明るくする運動	すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動。	75
138	健康寿命	日常生活に制限のない期間。	78
139	8050問題	用語解説リスト 54番の再掲	80
140	岡山市地域ケア総合推進センター	地域医療・介護の推進と市民の療養を支援するための中核拠点。	80
141	人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）	もしものときのために、自身が望む医療やケアについて、前もって考え、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取組。	80
142	認知症カフェ	認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場。	80
143	チームオレンジ	認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み。	80
144	保険料水準統一	県内で同じ所得水準・世帯構成であれば同じ保険料とすること（完全統一）。前段階の納付金ベースの統一（納付金算定に医療費の差を反映させない）については、令和11年度を目標年度とすることで県内で合意済み。	80
145	在宅介護総合特区	総合特区とは、地域の課題解決や活性化を目的に、国が特別な規制緩和や支援を認める制度。市では全国でも数少ない在宅介護に焦点をあてた総合特区の指定を受けている。	81
146	本人ミーティング	認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場。	81
147	ケアプラン	要支援認定、要介護認定を受けた人が介護サービスを適切に利用できるよう、その人の心身や家族の状況などを考慮しながら作成する介護サービスの計画書。	82
148	市内総生産	用語解説リスト 1番の再掲	84
149	付加価値	用語解説リスト 20番の再掲	84
150	スタートアップ	新しい企業であって、新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、急成長を目指す企業。	84
151	イノベーション	用語解説リスト 21番の再掲	84
152	事業承継	会社や事業を後継者に引き継ぐことを指し、親族内承継、従業員承継、第三者承継（M&A）の3つの方法がある。	84

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
153	スタートアップ・エコシステム	スタートアップが自律的、連続的に生み出される仕組み。	86
154	N E X T グローバル拠点都市	地域の尖がった産業構造やリソースをいかして、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにもつながる拠点都市。	86
155	労働生産性	用語解説リスト120番の再掲	86
156	U I J ターン	大都市圏から出身地に移住する「Uターン」、出身地以外の地方に移住する「Iターン」、出身地の近くの地方都市に移住する「Jターン」など、大都市圏の居住者が地方に移住する際の形態の総称。	86
157	地域未来投資促進法	地域の特性をいかして高い付加価値を創出し、地域への相当の経済的效果を及ぼす「地域経済牽引事業」を実施する事業者に対し、税制措置や規制の特例措置等の支援をするための法律。	86
158	市街化調整区域	都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域。	86
159	ステークホルダー	用語解説リスト90番の再掲	87
160	I o T	用語解説リスト17番の再掲	87
161	A I	用語解説リスト18番の再掲	87
162	生物多様性	用語解説リスト29番の再掲	90
163	農福連携	障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。 障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、農業分野の新たな働き手の確保につながる可能性もある。	91
164	スマート農業	ロボット技術やI C Tを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業。	91
165	地域計画	農業者や地域住民の話し合いに基づき、各地域における将来の農地利用状況を明確にするもの。	91
166	農地中間管理機構	都道府県、市町村、農業団体等が出資して組織されている法人であり、都道府県知事が都道府県に一つに限つて指定し、農地を所有者等から借受け、担い手等へ貸付を行う組織。	91
167	6次産業化	農林漁業者（第1次産業）が、農林水産物を原料とした食品加工（第2次産業）や製品の販売、サービス（第3次産業）までを総合的・一体的に行うことで、新たな付加価値を生み出す取組。	91
168	ライフサイクルコスト	施設の計画・設計・施工から、維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額。	92
169	みどりの食料システム戦略	農林水産省が令和3年5月に策定した、食料・農林水産業の生産力向上と持続可能性の両立をイノベーションで実現するための政策方針。	93
170	インバウンド	用語解説リスト25番の再掲	94
171	コンベンション	用語解説リスト4番の再掲	94
172	ハイブリッド開催	コンベンション等を現地参加とオンライン参加で併催する方式。	94
173	インセンティブ旅行	成績優秀な社員や販売店などを対象に、企業が報奨として行う旅行。報奨旅行。	94

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
174	M I C E	用語解説リスト 39番の再掲	94
175	連携中枢都市圏	用語解説リスト 69番の再掲	95
176	日本遺産	用語解説リスト 59番の再掲	95
177	R C E	用語解説リスト 11番の再掲	95
178	S D G s	用語解説リスト 13番の再掲	95
179	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	95
180	ユニークベニュー	会議やレセプション開催時に、歴史的建造物や公的空間等で特別感や地域特性を演出できる施設。	95
181	ファムトリップ	観光地などの誘客促進のために、旅行会社等を招いて行う現地視察旅行。	95
182	ナイトタイムエコノミー	夜間の様々な活動を通じて、地域の魅力や文化を発信し、消費拡大などにつなげる考え方、行動。	96
183	西のゴールデンルートアライアンス	大阪より西のエリアへ欧米豪旅行客や高付加価値旅行者などを誘客し、広域ルートの形成を図ることを目的に自治体や民間事業者等で構成する組織。	96
184	高次都市機能	用語解説リスト 3番の再掲	98
185	M I C E	用語解説リスト 39番の再掲	98
186	シェアサイクル「ももちやり」	自転車、ラック等を設置したサイクルポートを複数配置し、いずれのサイクルポートでも自転車の貸出・返却ができる自転車の共同利用システム。	99
187	容積率	敷地面積に対する建築物の延べ面積の割合。	99
188	都市再開発方針	都市計画法、都市再開発法に基づく計画的な再開発が必要な市街地に係る整備又は開発の方針で、岡山市の市街地再開発事業等のマスタープランに当たるもの。	99
189	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	100
190	西川パフォーマー	西川緑道公園で、賑わいづくりにつながる自主的なイベントを行う演技者等。イベント等の企画を市が認定することで「西川パフォーマー」として登録され、必要な支援を受けることができる。	100
191	高度利用地区	建築物の敷地等の統合を促進し、小規模建築物の建築を抑制とともに建築物の敷地内に有効な空地を確保することにより、用途地域内の土地の高度利用と都市機能の更新を図る地域地区。	101
192	大街区化	複数の街区に細分化された土地を集約・整形して大型の街区を創出することにより、敷地の一体的利用と公共施設の再編を図るもの。	101
193	地域振興基金	地域振興に要する経費の財源に充てるため設置した基金。中山間・周辺地域の振興につながる事業の財源として活用。	102
194	付加価値	用語解説リスト 20番の再掲	102
195	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	102
196	地域未来投資促進法	用語解説リスト 157番の再掲	103

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
197	市街化調整区域	用語解説リスト 158番の再掲	103
198	日本遺産	用語解説リスト 59番の再掲	103
199	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	103
200	デマンド型乗合タクシー	利用者の予約に合わせ運行する乗合のタクシー。自治体の技術面・費用面での支援のもと、地域住民や事業者等が主体となって運営するもの。	103
201	こども家庭センター	用語解説リスト 79番の再掲	104
202	安全・安心ネットワーク	用語解説リスト 102番の再掲	105
203	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	105
204	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	105
205	地域振興基金	用語解説リスト 193番の再掲	107
206	日本遺産	用語解説リスト 59番の再掲	108
207	ユネスコ創造都市ネットワーク	用語解説リスト 27番の再掲	110
208	プレゼンス	用語解説リスト 2番の再掲	111
209	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	112
210	スポーツコミッショナ	地元経済界や大学・行政等を中心に発足。県内スポーツ資源を最大限活用し、スポーツ合宿や大会等の誘致・開催の推進により、市の魅力発信、地域活性化、スポーツ文化の振興に務める。	116
211	流域治水	用語解説リスト 36番の再掲	118
212	南海トラフ巨大地震	用語解説リスト 34番の再掲	118
213	ライフライン	用語解説リスト 62番の再掲	118
214	リダンダンシー	「冗長性」「余剰」を意味し、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめネットワークや施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質。	118
215	流域治水プロジェクト	流域治水の考え方に基づき、河川流域全体で早急に実施すべき対策の全体像。	120
216	ハザードマップ	一般的に、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難経路、避難場所などの防災関係施設の位置等を表示した地図。	120
217	ため池浸水想定マップ	防災意識の向上を目的に、雨量及び震度に関係なく、ため池の破堤を前提に全貯水量が流出後、60分間で想定される浸水の深さを色分けした地図。	120
218	浸水想定区域	想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域。	120
219	土砂災害警戒区域	土砂災害（土石流、地滑り、急傾斜地の崩壊）が発生した場合には住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。	120

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
220	要配慮者利用施設	社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設。	120
221	避難確保計画	水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における、防災体制、避難誘導、施設の整備、防災教育及び訓練の実施等、そのほか利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置に関する事項などを定めた計画。	120
222	タイムライン	災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。	121
223	大規模盛土造成地	谷を埋めた造成地で3, 000 m ² 以上、若しくは盛土前の地山が20° 以上でかつ盛土高さ 5 m以上の造成地。	121
224	ライフライン	用語解説リスト 62番の再掲	124
225	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	124
226	地域防災リーダー	地域の防災活動を主導するリーダー。平常時には地域の特性や災害危険性を把握し、地域住民に対して自助の重要性を周知するために防災訓練やイベントを実施する。	126
227	救命の連鎖	傷病者を救命し、社会復帰させるために必要な一連の行為。「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「一次救命処置」「二次救命処置と心拍再開後の集中治療（医療機関）」の4つの輪で構成される。	126
228	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	127
229	X R 技術	現実世界と仮想世界を融合し、視覚や聴覚などを通じて、新しい体験を創造する技術で、「VR（仮想現実）」「AR（拡張現実）」「MR（複合現実）」などの先端技術の総称である。	127
230	D X	用語解説リスト 23番の再掲	127
231	常備・非常備消防	常備消防とは市町村単位で設置される消防本部及び消防署。非常備消防とは消防団。	127
232	刑法犯認知件数	警察等の捜査機関が犯罪の発生を認知した件数。	130
233	特殊詐欺等	被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預金口座へ振り込みをさせるなどの方法により、不特定多数の人から現金等をだまし取る犯罪等（現金等を脅し取る恐喝や隙を見てキャッシュカード等を盗み取る窃盗、S N S型投資・ロマンス詐欺を含む。）の総称。	130
234	S D G s	用語解説リスト 13番の再掲	132
235	ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に将来にわたり幸せな状態。	134
236	市街化区域	都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街地として積極的に開発・整備する区域で、既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。	134
237	緑被率	衛星写真等で上空から見た際の緑（樹林、草地、農地、樹木、芝生等）に覆われている面積割合。	134
238	ライフサイクルコスト	用語解説リスト 168番の再掲	135

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
239	景観形成重点地区	優れた景観を有する地区又は新たに良好な景観を創出すべき地区など、重点的に景観形成を推進していくために指定する地区。現在、後楽園背景保全地区、都心軸沿道地区、岡山カルチャーゾーンを指定している。	135
240	屋外広告物モデル地区	屋外広告物の表示に関する基準を強化し、都市の良好な景観又は風致を維持するために指定する地区。現在、桃太郎大通り、ハレまち通り、市役所筋や岡山カルチャーゾーンなどを指定している。	135
241	緑視率	人の視界に占める緑の割合を表し、街路樹や生け垣、壁面緑化など、人々が目にする緑量を示す指標の一つ。	136
242	西川パフォーマー	用語解説リスト 190番の再掲	136
243	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	136
244	生活サービス機能	医療・福祉・商業等の市民の生活に必要な機能。	138
245	市街化区域	用語解説リスト 236番の再掲	138
246	市街化調整区域	用語解説リスト 158番の再掲	138
247	特定空家等	そのまま放置すれば、著しく保安上危険・衛生上有害・景観悪化・生活環境悪化となるおそれのある状態にある空家等。	139
248	管理不全空家等	そのまま放置すれば、特定空家等に該当するおそれのある状態にある空家等。	139
249	都市計画マスタープラン	都市計画法第18条の2の規定に基づき策定するもので、都市づくりの将来像、土地利用の方針、都市施設や市街地整備の方針など、都市計画に関する基本的な方針を定めたもの。	140
250	L R T	L i g h t R a i l T r a n s i t の略で、低床式車両(L R V)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システム。	143
251	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	143
252	デマンド型乗合タクシー	用語解説リスト 200番の再掲	143
253	シェアサイクル「ももちやり」	用語解説リスト 186番の再掲	143
254	ボトルネック交差点	右折レーンがないなど、交差点の交通容量不足によって、著しい渋滞が発生している交差点。	143
255	サイクル＆バスライド	通勤等において、自転車からバスへの乗り継ぎを促進する仕組みで、バス停近くに駐輪場を配置し、自転車からバスに乗り換えて目的地に向かうシステム。	144
256	モビリティマネジメント	地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や歩行などを含めた多様な交通手段を適度に（かしこく）利用する状態」へ、ひとり一人の住民や、職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促し、少しづつ変えていく一連の取組。	144
257	コミュニティバス	地域住民の移動手段を確保するため、自治体が主体となって、計画・運行・運営するバス。	144
258	ユニバーサルデザイン	用語解説リスト 131番の再掲	144
259	ネイチャーポジティブ	自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。	146

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
260	里山	原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域のこと。	146
261	アユモドキ	国の天然記念物及び種の保存法に指定されているコイ目アユモドキ科の淡水魚。岡山平野を中心とした地域と琵琶湖淀川水系に不連続に分布している。	146
262	生物多様性	用語解説リスト 29番の再掲	146
263	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	147
264	E S D	用語解説リスト 10番の再掲	147
265	自然共生サイト	民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている環境省が認定する区域のこと。	148
266	P F A S	1万種類以上の物質があるとされる有機フッ素化合物の総称。一部の物質は環境中に残留し、健康へ影響を与える可能性が指摘されている。	148
267	温室効果ガス	用語解説リスト 32番の再掲	150
268	世界首長誓約/日本	自治体の首長が、持続可能なエネルギーの推進や温室効果ガスの削減、気候変動への影響への適応に取り組む旨を誓約する国際的な仕組み。	150
269	連携中枢都市圏	用語解説リスト 69番の再掲	150
270	脱炭素社会	今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡（世界全体でのカーボンニュートラル）が達成された社会。	150
271	再生可能エネルギー	用語解説リスト 67番の再掲	150
272	クーリングシェルター	熱中症特別警戒アラートの発表期間中、危険な暑さから避難できる場所として、一般に解放される施設のこと。	153
273	循環型社会	用語解説リスト 40番の再掲	154
274	汚水処理人口普及率	行政人口（住民基本台帳に登録された人口）のうち、下水道、集落排水、合併処理浄化槽などの汚水処理施設を利用することが可能な人口の比率。	154
275	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	155
276	農業集落排水	農業用排水路などの公共用水域の水質を保全するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する比較的小規模な汚水処理施設。	155
277	合併処理浄化槽	便所と連結してし尿とこれを併せて雑排水を処理して放流するための設備・施設のこと。	155
278	連携中枢都市圏	用語解説リスト 69番の再掲	158
279	アンコンシャス・バイアス	用語解説リスト 15番の再掲	159
280	地方創生応援税制	国が認定した地域再生計画に位置づけられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、寄附額に応じて法人関係税を控除する制度。	160

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
281	R P A	これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。	162
282	A I	用語解説リスト 18番の再掲	162
283	D X	用語解説リスト 23番の再掲	162
284	経常収支比率	人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源等の合計額に占める割合。	162
285	将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率。	162
286	実質公債費比率	一般会計等が実質的に負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。	162
287	B P R	既存の業務プロセスを一から見直すことにより、業務の効率化や市民負担の軽減等の抜本的な見直しを行うこと。	163
288	オープンデータ	機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのことであり、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とする。	163
289	単独世帯	一般世帯のうち、世帯員が1人の世帯。	169
290	里山	用語解説リスト 260番の再掲	170
291	単独世帯	用語解説リスト 289番の再掲	170
292	昼間人口	夜間人口から流出人口（当該地域から当該地域以外へ通勤・通学している者）を除き、流入人口（当該地域以外から当該地域へ通勤・通学している者）を加えた人口。	170
293	夜間人口	国勢調査の調査時に当該地域に常住している人口。	170
294	インバウンド	用語解説リスト 25番の再掲	171
295	世界かんがい施設遺産	歴史的な価値のあるかんがい施設を国際かんがい排水委員会（ICID）が認定・登録する制度。登録により、かんがい施設の維持管理に関する意識向上や地域づくりに活用されることが期待される。	171
296	日本遺産	用語解説リスト 59番の再掲	171
297	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	173
298	まちづくりアンバサダー	区の情報・魅力発信等に協力し、区役所と一緒にまちづくりを進めるボランティア。	173
299	健康市民おかやま21	用語解説リスト 127番の再掲	173
300	ハザードマップ	用語解説リスト 216番の再掲	173
301	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	173
302	刑法犯認知件数	用語解説リスト 232番の再掲	174
303	安全・安心ネットワーク	用語解説リスト 102番の再掲	174
304	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	174
305	付加価値	用語解説リスト 20番の再掲	174

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
306	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	174
307	地域防災リーダー	用語解説リスト 226番の再掲	176
308	6次産業化	用語解説リスト 167番の再掲	177
309	地域未来投資促進法	用語解説リスト 157番の再掲	177
310	市街化調整区域	用語解説リスト 158番の再掲	177
311	LRT	用語解説リスト 250番の再掲	178
312	シェアサイクル「ももちやり」	用語解説リスト 186番の再掲	178
313	公共交通不便地域	路線バス等が運行していない、又は、既存バス停や鉄道駅から離れているため、日常生活に必要な公共交通の利用が不便な地域。	178
314	単独世帯	用語解説リスト 289番の再掲	180
315	昼間人口	用語解説リスト 292番の再掲	180
316	夜間人口	用語解説リスト 293番の再掲	180
317	ケレッップ水制	船の安全な航行を目的とし、流路を狭めることで川底に土砂が溜まるのを防ぐためのT字型の石積みの構造物。桜橋から岡南大橋にかけての旭川左岸約4kmにわたって、水量が少ない時に見られる昭和初期の近代土木遺産。	181
318	世界かんがい施設遺産	用語解説リスト 295番の再掲	181
319	里山	用語解説リスト 260番の再掲	181
320	生物多様性	用語解説リスト 29番の再掲	181
321	アユモドキ	用語解説リスト 261番の再掲	181
322	NPO	用語解説リスト 9番の再掲	184
323	健康市民おかやま21	用語解説リスト 127番の再掲	184
324	南海トラフ巨大地震	用語解説リスト 34番の再掲	184
325	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	186
326	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	187
327	ハザードマップ	用語解説リスト 216番の再掲	187
328	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	187
329	新産業ゾーン	西大寺地区に位置し、製造業等を中心とする企業団地のほか、下水処理場やゴミ処理場等の機能を集めた地域。	188
330	単独世帯	用語解説リスト 289番の再掲	188
331	昼間人口	用語解説リスト 292番の再掲	188

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
332	夜間人口	用語解説リスト 293番の再掲	188
333	日本遺産	用語解説リスト 59番の再掲	189
334	世界かんがい施設遺産	用語解説リスト 295番の再掲	189
335	アユモドキ	用語解説リスト 261番の再掲	189
336	N P O	用語解説リスト 9番の再掲	191
337	モータリゼーション	日常生活において自動車の利用が普及すること。	191
338	付加価値	用語解説リスト 20番の再掲	191
339	高付加価値型農業	農産物の品質向上等の取組により、市場での価値を高め、収益向上を図る農業形態のこと。	191
340	ボトルネック交差点	用語解説リスト 254番の再掲	192
341	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	192
342	公共交通不便地域	用語解説リスト 313番の再掲	192
343	健康市民おかやま21	用語解説リスト 127番の再掲	192
344	ええとこ発見図	自分たちの住んでいる地域のええとこ（いいところ）を盛り込んだウォーキングマップ。	192
345	南海トラフ巨大地震	用語解説リスト 34番の再掲	192
346	安全・安心ネットワーク	用語解説リスト 102番の再掲	192
347	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	192
348	地域未来投資促進法	用語解説リスト 157番の再掲	194
349	市街化調整区域	用語解説リスト 158番の再掲	194
350	D X	用語解説リスト 23番の再掲	194
351	地域防災リーダー	用語解説リスト 226番の再掲	195
352	集中備蓄倉庫	災害時の備蓄物資を保管している大型倉庫。物資が不足している避難所等へ、より迅速・効率的に配送ができるよう、市内各地域に配置し、市内全域をカバーしている。	195
353	ハザードマップ	用語解説リスト 216番の再掲	195
354	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	195
355	経営耕地面積	農林業経営体が経営している耕地のことと、自家で所有している耕地（自作地）と、よそから借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計。	198
356	昼間人口	用語解説リスト 292番の再掲	198
357	夜間人口	用語解説リスト 293番の再掲	198
358	令和7年3月に発生した大規模な林野火災	令和7年3月23日に南区飽浦地内で発生した林野火災。同月28日鎮圧、4月11日鎮火。焼損面積486ha（うち市内472ha）。記録が残る昭和40年以降、県内で最大の林野火災となった。	201

用語解説リスト

番号	用語	解説	ページ
359	南海トラフ巨大地震	用語解説リスト 34番の再掲	201
360	安全・安心ネットワーク	用語解説リスト 102番の再掲	201
361	自主防災組織	用語解説リスト 63番の再掲	201
362	地域防災リーダー	用語解説リスト 226番の再掲	202
363	生活交通	用語解説リスト 70番の再掲	202
364	健康新市民おかやま21	用語解説リスト 127番の再掲	202
365	ハザードマップ	用語解説リスト 216番の再掲	204
366	出前講座	用語解説リスト 116番の再掲	204
367	付加価値	用語解説リスト 20番の再掲	204
368	地域未来投資促進法	用語解説リスト 157番の再掲	205
369	市街化調整区域	用語解説リスト 158番の再掲	205
370	NPO	用語解説リスト 9番の再掲	205
371	デマンド型乗合タクシー	用語解説リスト 200番の再掲	205
372	公共交通不便地域	用語解説リスト 313番の再掲	205